高松南高新聞

発行所
香川県高松市一宮町
香川県立高松南高等学校
新聞部
https://www.kagawa-edu.jp/minamh02
印刷所　朝日園

本号の記事

一面　卒業式・修了式・贈る言葉
二面　進路状況・修学旅行・クラスマッチ
部活動の記録・生徒会
教育活動に対するアンケートなど

祝 卒業・修了
学びを力に 未来へ進め

本日、令和七年度卒業証書・修了証書授与式が挙行される。卒業証書を授与されるのは五科で二百八十六名、修了証書を授与されるのは専攻科看護科の三十四名。

式では、各科代表者に校長先生から卒業証書、修了証書が授与されます。在校生代表の小板橋凛さん（２の４）と染山皇さん（R１）が送辞を述べ、卒業生代表の十河優華さん（３の５）と飯間楓華さん（R２）が答辞を述べます。

式に先立ち二日に行われた同窓会入会式では、大西柚里亜さん（２の４）が記念品目録を卒業生に手渡しました。

各科の代表者、及び各受賞者は以下の通りです。（皆勤は１月末時点）

●卒業証書・修了証書受領
普通科　村尾　涼
環境科学科　田野　結菜
生活デザイン科　竹内　佑果
看護科　久保　美華
福祉科　山田　陽菜
専攻科　川角　侑生

●同窓会入会式入会者代表
高畠　瀬音・佐藤　優奈

●在校生からの記念品
目録受領者　小川　愛奈

●香川県教育委員会賞
迫田　優月

●学校体育優秀者賞
谷澤　樟大・亀井　雪乃

●県高等学校文化連盟
文化功労賞
川股　夏海・松下いづみ

●産業教育振興中央会長賞
香西　璃音・楠原　みう
小林りあら・山下　華奈
飯間　楓華

●全国農業高等学校長協会賞
小野坂拓海

●全国看護高等学校長協会賞
川角　侑生

●全国福祉高等学校長会理事長賞
西岡　美保

●全国商業高等学校長協会賞
藤森のぞ美

●全国高等学校家庭クラブ連盟賞
木村　心

●香川県産業教育振興会長賞
浦川　愁都・片岡　羽海
眞部　珠羽・小笠原梨子
加藤　凛

●香川県農業クラブ連盟賞
山田　皐月

●香川県デザイン協会長賞
富永　柔

●実務特級（全商協会主催検定３種目以上一級合格）
４種目
川北　愛実・並川　勝海
藤森のぞ美
３種目
堺　優羽・武田穂奈美
藤澤　瑠唯・松本　唯花
山地　里桜・由佐　七海

●３か年皆勤
岡上　美久・坂井　萌花
豊田　耀生・片岡　羽海
楠原　みう・西岡　美保
畑　そあら・目戸　緋色
亀井　雪乃・森　彩加音
杉野　詩織・村尾　涼
多田　凪沙・藤澤　瑠唯

●２か年皆勤（専攻科）
川角　侑生・古澤菜々海

●生徒会功労賞
後藤　叶恵・小橋　歩奈

●漢字テスト３カ年優秀賞
三宅　詩蛍・富永　柔
村上　琉夏・十河　千尋
畑田　蓮花・宮澤　七愛
鍵山みはる・並川　勝海

贈る言葉

「卒業するみなさんへ」
三年団長　黒田　鉄也

今日からみなさんの母校は高松南高校です。

中学校の話になりますが、私が通っていた学校は、少子化のため、すでに閉校になっています。閉校式には、近隣の高校の教師として参加しました。懐かしさと少しの残念な感情があり、複雑な気持になったことを覚えています。大勢の方が参加していましたが、感情の高まりからか、校歌を歌うシーンでは多くの方が大声で歌いながら号泣していました。当時、私は、そこまでの思いが理解できませんでしたが、不思議と年々分かるようになってきました。

さて、みなさんは母校である南高にどのような思いがありますか。社会に出ると環境は一変します。新しい人間関係、新しい責任、そして自分で選び取っていく日々。そんな中で、ふと思い出す瞬間があります。三年間を過ごした母校の価値は、実は卒業した直後より、何年もたってから深く胸に響いてくるということです。日々の生活では当たり前に感じていたものほど、離れて見て初めて、その大きさに気づくものです。母校で築いたつながりは、人生のどこかで必ずみなさんを支える力になるでしょう。

卒業おめでとうございます。

「明けない夜はない」
一組担任　山崎　梨絵

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

シェイクスピアの名言に「明けない夜はない」という言葉があります。この言葉は「苦しい状況はずっと続くわけではない、耐えれば必ず良いことがある」ということです。皆さんもこの先の人生で、困難や悩みにぶつかり苦しい状況になる時があるかもしれません。そのような状況を乗り越えた先には自分の自信や希望につながる何かを手に入れることができます。

この三年間も様々な壁を試行錯誤しながら乗り越え、成果を得ることができたのではないでしょうか。しかし乗り越えることができたのは、自分自身だけではなく傍で支えてくれた家族、励ましあった友達がいることも忘れないでください。皆さんの未来が輝かしいものになるよう祈っています。三年間ありがとう。

「やるべきときにやるべきことを」
二組担任　祖父江　陵

三年生のみなさんご卒業おめでとうございます。卒業を迎えた今、南高での三年間をどのように感じているでしょうか。楽しかったこと、嬉しかったこと、辛かったこと、苦しかったこと様々な思い出があると思いますが一つとして無駄なものはありません。目の前のことに全力でぶつかったことの結果はすべてこれからの人生の糧になります。

私は土木の教員として資格取得の指導をしていますが自分自身でも一年に一つ以上の資格を取ることを目標にしています。資格を取ればこれまでできなかったことができ、新しい世界を開いてくれます。

皆さんもこれからの人生で何かライフワークと呼べるような目標を見つけてみてください。今しかできないことに全力で取り組めば新しい世界が見えてくるでしょう。

「初めての経験を大切に」
三組担任　高田　愛佳

三年生のみなさん卒業おめでとうございます。このメッセージを考えるときに私の高校卒業を思い出しました。

私は大学受験に失敗して浪人生となりましたが、高校卒業を機に、初めて髪の毛を明るく染めました。ヤンキーに見られたからか予備校では新しい友達ができなかったです。笑

大学合格後は初めてのアルバイトや一人暮らしを始めて、生活費のやりくりや人付き合いを学びました。黒髪で入学したので友達は簡単にできました。笑

これからたくさんの「初めて」を経験します。「初めて」は怖く感じるかもしれませんが、意外と簡単に過ぎていくものです。新しい経験を大切にして、これからの生活を楽しんで下さい。

「念ずれば花ひらく」
四組担任　久冨　祐子

坂村真民さんという詩人の言葉に「念ずれば花ひらく」という言葉があります。彼の母親が苦しい時、いつも口にしていた言葉だそうです。

何があろうとも今の自分を信じて、ただただ前をみて、真っすぐ自分の道を生きることが、思い描く未来を手にする方法です。

三年四組のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

就職・進学・介護福祉士国家試験、よく頑張りました。あなたたちの長い人生のほんの一瞬に関わることができたことは、私にとってとても幸せなことです。「今日も一日happy！」といえる毎日を過ごしてください。自分の信じる道を真っすぐ進んでください。

「未来に幸あれ」
五組担任　小林　賢治

あなたたちには、自分が本当に正しいと信じる道を粘り強く歩んで欲しいと思っています。自分の意志を貫こうとする過程で、どうすればよいのか迷うことや困難に立ち向かう勇気が持てないことも数多くあるでしょう。しかし、自分の心に正直で、懸命に努力するあなたたちの気持ちを理解し、支えてくれる人が必ずいます。もちろん私もその一人ですからね。あなたたちは決して一人ではありません。南高で出会った人たちとの多くの素敵な思い出も困難を乗り越えていくエネルギーになってくれます。

心も体も大切に。あなたはあなたらしく。一人ひとりが本当にかけがえのない存在なのです。

私があなたたちと過ごしてきた日々は最高で最幸の時間でした。みんなと出会えて本当によかったです。

卒業、おめでとう。

「祝辞」
六組担任　松井　佑翔

卒業おめでとうございます。

皆さんはこの南高で、知識だけでなく、人との関わりや挑戦することの大切さを学んできました。思うようにいかず悩んだ日も、仲間と励まし合い笑いあった日も、すべてが皆さんの成長の証です。その経験一つ一つが、これからの人生を支える確かな土台となります。これから先、進む道は決して平坦ではなく、迷いや不安に直面することもあるでしょう。しかし、ここまで努力してきた自分を信じ、失敗を恐れず前へ進んでください。遠回りに見える道も、必ず自分の力になります。皆さんが自分らしさを大切にし、それぞれの場所で輝きながら、実りの多い未来を切り拓いていくことを心から願っています。

「三年間の歩みを胸に」
七組担任　中村　美里

ご卒業おめでとうございます。高松南高校での学校生活は、皆さんにとってどのような時間だったのでしょうか。「やっと終わった」と感じている人もいれば、「少し寂しい」「本当に楽しかった」と様々な思いを抱いていることと思います。

高校生活の中で、相手の気持ちを考えて悩んだり、人とのかかわり方を工夫したり、集団の中での楽しみ方を見つけたりする経験はできましたか。集団生活では、自分とは異なる考え方をもつ人たちと同じ空間で時間を共有し、学びあい、協力する場面が多くあります。それは大変なことでもあり、同時に大きな喜びでもあったはずです。

皆さんが高校時代に積み重ねた経験は、これからの人生を歩むうえで、きっと一つの指標となります。学業や部活動に全力で取り組んだ日々も含め、無駄なものはひとつもありません。たとえ失敗したとしても、その経験は次へと進むための大切な学びとなっています。

これから始まる新生活にも、前向きにチャレンジして下さい。様々な状況を楽しみながら、自分の人生をより豊かなものにしてほしいと願っています。小さな幸せや日々の成長を大切にしながら歩んでください。

また、一段と成長した皆さんに再会できる日を心から楽しみにしています。

「言葉の力」
八組担任　栗　崇仁

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。一年間ではありましたが、皆さんに出会い、成長に立ち会えたことを嬉しく感じています。皆さんの更なる成長を願って言葉を贈ります。

言霊信仰があるように、言葉には心が宿ると考えられています。「無理」「できない」と言ってしまえばその壁を乗り越えることはできません。「ありがとう」と言えない人は他人からも感謝されません。言い訳から始める人は、言い訳を作ることにしか努力できない人になり、成長できません。

これからの人生、自分の発する言葉を前向きに、思いやりを持ったものにすることで、皆さんの未来を良い方向に導くことができます。言葉を大切に、幸多い人生を歩んで下さい。

「以心伝心」
専二担任　大平沙也香

三十四名の修了生のみなさん、ご修了おめでとうございます。この五年間、楽しいことも苦しいことも、皆さんは一つひとつ乗り越えてきました。そんな皆さんに伝えたいことは、二つ。一つ目は、私がずっと大事にしてほしいと言ってきた言葉、「感謝」です。今の皆さんがあるのは、家族や友だち、実習先の方々など、多くの支えがあったからこそです。その当たり前ではない支えに、これからも心を向け続けてほしいと思います。そしてもう一つは、「学び続ける姿勢」をもち続けてほしいということです。看護師は、どんな場面でも誰かの力になれる素敵な仕事です。「この人に何ができるだろう」と考え、学び続けてください。皆さんとの思い出をふり返ってみると、一人ひとりは明るく賑やかなのに、私が問いかけるとシーンとなる、あの独特の空気…。どう声をかければいいのか悩むこともありました。でも、テストになると一気に集中して力を発揮する。そんな魅力いっぱいのクラスでした。そんな皆さんが、それぞれの場所で、笑顔で活躍する姿を楽しみにしています。三年間、本当にありがとう。

「卒業式の答辞」
「平和の世界を築きゆくべし」
―命の尊さを力に変えて
校長　三笠　善宣

高校三年生、専攻科二年生の皆さん、卒業並びに修了おめでとうございます。かつて、期待と不安を胸に初めて校門をくぐった皆さんが、今日、それぞれの専門の証を手に、凛とした表情で旅立ちの時を迎えました。その逞しい姿に、教職員一同、大きな喜びと誇りを感じています。

私たちが共に過ごしたこの二〇二五年度は、歴史において大きな意味を持つ一年でした。戦後八十年という節目、改めて「平和」の価値が問い直されました。今もなお世界のいくつかの場所で、極めて強大に進化した武器で人と人とが傷つけ合うような状況が続く中、戦争の事実を直接には知らない私たちは、どのようにして争いのない世界を維持し、次世代へ繋いでいくべきなのか。その答えを、皆さんは日々の学びの中に、自らの手で見出してきたはずです。

本校の校歌は、**「平和の世界を築きゆくべし」**という力強い決意の言葉で結ばれています。この「平和の世界」とは、単に争いがないことを指すのではありません。一人ひとりの「命」が尊重され、誰もが自分らしく生きられる社会のことです。環境科学科の皆さんは、土地を整備し種をまき、生命が育つ神秘と厳しさを通じて命の力強さを学びました。生活デザイン科、看護科、福祉科の皆さんは、座学と実習を通じて、人の日常を支えることの重みと、他者の痛みに寄り添う心を磨きました。そして普通科の皆さんは、それら多様な価値観が交差する中で、真理を探究し、多角的に物事を捉える知性を養いました。

これらはすべて「命」を慈しみ、育む営みです。命を大切に想う心こそが、平和の出発点にほかなりません。自分を大切にし、それと同じように他者を大切にする。その極めてシンプルで、かつ最も困難な実践を、皆さんは南高で過ごす中で積み重ねてきたのです。

おそらくこの先、予期せぬ困難や価値観の相違に直面します。そんなとき、校歌の一節を思い出してください。「築きゆくべし」という言葉には、誰かが平和を創ってくれるのを待つのではなく、自分たちがその創り手になるのだという強い意志が込められています。培った専門性と、「最善を尽くして日々に進むべし」の精神があれば、皆さんは必ずや、周囲を照らす希望の光となれるはずです。

平和を愛し、命の尊さを知る皆さんが、それぞれの場所で豊かな花を咲かせ、校歌の理想を体現していくことを切に願います。高松南高等学校での日々に誇りを持ち、自信を持って歩んでください。皆さんの新しい旅立ちを、心より祝福いたします。

進路状況（進路指導部より）

○進学状況

令和七年度も様々な出来事があった一年になりました。今年も米を始めとしたありとあらゆるものの価格上昇が継続しました。また今夏の平均気温偏差は、昨年の記録を大幅に上回り三年連続で最も高い記録になりましたが、猛暑厳しい中、三年生は学校行事にも前向きに取りくみながら、各々の進路実現に向けて行動しました。進路に関して大きな変化といえば、共通テストの生徒によるネット出願・登録だと思います。

本校の進学希望者の多くは、総合型選抜や学校推薦型選抜を利用して受験しており、一月末時点で約九割の生徒が進路を決定しています。また本校の特色として地元や中四国、近畿方面の進学志向が強く、資格取得を目指した医療系、保育・幼児教育系等の人気が依然として高い傾向にあります。

今年の本校の共通テスト出願者数は五十名を超え、過去五年間において最大数になりました。国公立大学への進学を目指し、挑戦する生徒が増加したことが一因でしょう。また、新課程変更二年目となる今年の共通テストですが、思考量や処理負荷が高まる問題形式の流れは継続しています。

全ての教科・科目においても会話文形式や場面設定型問題があり、試験時間内に設定や資料・データを正確に読み取り、適切に答えを導き出せるかが鍵になります。「知識を覚えて答える問題」ではなく、「思考力や判断力を測る問題」に対応するためには、問題演習に頼るだけの受験対策（知識暗記型）では不十分です。普段から新聞や新書をよく読み、自分で学習する習慣を身に付け、社会の動きに関心を持ち、自ら学ぶ力を身に付けていかなくてはなりません。しかし、このような発展的な思考力が求められる入試問題も、結局は基本的な学習力なしでは解けません。基本的な語彙力、文法、公式、知識などが定着した上で、共通テスト対策が始まります。また、私立大学は従来型の問題出願も多いので基本的な学力の定着は必須です。

昨今、生成AI技術のめざましい進歩や国際社会の急速な変化は、私たちが自ら主体的に取り組む姿勢を求めています。総合型選抜や学校推薦型選抜で合格した人の共通点は、早い時期から情報を集めて、志望校を決め、過去問をもとにきめ細やかかつ粘り強い対策をとっていました。これらの入試で失敗した人の特徴は、受験対策の遅れ、教師からの働きかけを待っているなど、受け身の面があります。進路に対する意識や知識の差も、合否を分ける要因です。合格の可能性を広げるためにも、受験指導経験のある教師にぶつかってきてください。

受験勉強は「三年生になってから」、総体が終わってから」ではなく、志望校、志望学部を決めた時点が出発です。校外模試は必ず受験して下さい。大学受験は全国の受験生がライバルです。受験対策には具体的なデータが不可欠です。自分の立ち位置を知ることによって新たな視点や考え方が得られます。「確かな学力」を身に付け、進路選択の幅を広げるためにも是非、一般入試にチャレンジして下さい。受験勉強の経験は、皆さんが自分の壁を越えられる機会になるはずです。

合格者数	
大　学	96
短　大	13
専門学校	76

●主な進学先（R8年1月現在）

香川大学、山口県立大学、龍谷大学、京都橘大学、近畿大学、桃山学院大学、摂南大学、神戸学院大学、神戸女子大学、武庫川女子大学、広島工業大学、岡山理科大学、美作大学、四国大学、ノートルダム清心女子大学、四国学院大学、高松大学、徳島文理大学、松山大学、高松短期大学、香川短期大学、穴吹カレッジ、四国医療専門学校、四国職業能力開発大学校、四国医療福祉専門学校、香川県歯科医療専門学校など

○就職状況

今年度の就職希望者は四十三名。昨年度は三十七名でした。今年度は公務員として働く生徒が例年より増加しました。

四月から働く皆さん、「働く」ことは、簡単ではありません。最初の一年間は新しく覚えることばかりで、朝から夕方まで働き続けることになるので、体も心も疲れます。就職して会社を辞めるのが一番多いのが一年目です。確かに大変ですが、そこを何とか乗り越えると、次の一年は少し落ち着いて働けます。とにかく「ひた向き」に働いてみて下さい。嬉しいことや楽しいことや苦しいことや辛いこと、すべてがあなたを大きくしてくれます。

進学する皆さん、たくさんのことを学び、感じてください。「学ぶ」ことは、自分の「心」を豊かにしてくれます。そして、学校で教えてくれることだけに満足せず、「知識」も「技術」も、自ら意欲を持ってどんどん学んでください。

一・二年生の皆さん、進学にせよ、就職にせよ、自分が「やってみたい」と思えるものを探してください。人生は一度しかありません。自分が後悔の無い、後悔のできるだけ少ない「選択」をして欲しいと思っています。

●全就職先（今年度）

青葉工業・あかりフーズ・アムロン・イング・小野・香川県農業協同組合・カナック・北四国クレーン・美容室さかもと・マロニエ・四国中検・センコヤ本店・高木産業・タチバナ工業・帝國製薬・東讃建設・日本郵便・ホテルニューアワジ・モンロワール・レオマユニティー！（社福）はつき会・（社福）牧羊会・（社福）済生会・（社福）高松市社会福祉協議会・（社福）さぬき・（社福）竜雲学園・（老健）あやがわ・香川県（農業土木）・高松市（土木）・自衛隊・香川県警察（社福＝社会福祉法人・老健＝老人保健施設）

二年生　修学旅行

一月二十三日（火）から二十六日（金）の三泊四日の日程で、二年生が東京・北海道へ修学旅行に出かけた。

一日目の東京では、東京観光と東京ディズニーシーの二か所に分かれ、研修を行った。東京観光では、浅草や原宿等を訪れ、友人と食べ歩きをしたり、お土産を買ったりするなど、楽しい経験をすることができた。東京ディズニーシーでは、非日常的な景色や雰囲気を楽しむことができた。園内は細かいところまで工夫が凝らされており、歩いているだけでもワクワクした気持ちになった。アトラクションでは、友達と一緒に驚いたり笑ったりしながら、思い出に残る時間を過ごした。また、ショーや景色を見て、ディズニーシーならではの世界観を感じることができた。

二日間におよぶスキー・スノーボード研修では、未経験で不安な気持ちを持っていた人が多かったが、インストラクターさんが優しく丁寧に教えてくれたおかげで、最後はみんな楽しそうに滑っていた。

スキー・スノーボード研修後に、小樽・札幌の観光をした。全員が研修での疲れを忘れ、北海道ならではのジンギスカンや海鮮丼、スイーツを沢山いただいた。その後は、お土産を沢山購入した。小樽・札幌市内に、南高生の笑顔が溢れたひと時となった。

最終日は、ウポポイ国立アイヌ民族博物館を見学した。事前学習でアイヌについて学習していたが、展示されていたものを見て、アイヌの風習や文化。言葉の意味等をさらに詳しく知ることができた。

三泊四日の修学旅行を大きなトラブルなく無事に終えることができ、本当に良かった。私たちにとって、今回の修学旅行は一生忘れることのない良い思い出となった。

▲スキー研修

▲東京ディズニーシーにて

▲小樽にて

白熱した二学期クラスマッチ

十二月二十二日（月）・二十三日（火）

マリオカート

マリオカートは一日目に行われた。初めてクラスマッチに採用された種目だったため、戸惑うこともあったが、チーム内で教え合うことで団結し、応援する側も力の入った応援をして、見る側もする側も、どちらも楽しく盛り上がった試合となった。選手が選ぶキャラやカートにも個性が出ていて、とても面白かった。

バレーボール（男女）

各クラスが優勝を目指し頑張っていた。試合では、仲間に声をかけ合いながらボールをつなぐ姿が多く見られた。強いスパイクが決まったシーンや、あきらめずにボールを拾うプレーには、コートの周囲から大きな声援が送られた。試合会場は、クラス全員で応援することで、一体感に包まれていた。

オセロ

オセロの試合が始まるとともに、真剣な表情となる選手が多くいた。コマをひっくり返したり、ひっくり返されたり、角をとられて焦ったり、どこに置こうか考えたりする姿が見られ、静かながら熱い試合だった。角を積極的に取ったり、内側から攻めたりと、選手それぞれのプレースタイルがあって、とても面白かった。

バスケットボール（女子）

女子バスケットボールでは、どの試合も白熱した展開となった。選手の声だけでなく、応援生徒の大きな声もよく聞こえた。クラスによって戦略が異なり、見ていてとても面白く、楽しかった。三年生は最後のクラスマッチを全力で楽しんでいたようだった。

フットサル（男子）

二日目の男子フットサルは、各試合が熱戦となり、一人一人が一つのボールを追い、全力でプレーし、見る側もする側も力の入った試合であった。決勝戦も、大熱戦となるとても面白いゲームで、選手たちが最後の最後まで諦めずに全力で取り組む姿勢に心を打たれた。

【結果】

○マリオカート　優勝　三年五組
　二年六組
　一年四組

○バレーボール（男子）
優勝　三年二組A
　二年二組B
　一年八組A

○バレーボール（女子）
優勝　三年七組A
　二年三組B
　一年七組B

○オセロ優勝　三年七組
　二年二組
　一年五組

○バスケットボール（女子）
優勝　三年七組A
　二年七組
　一年三組A

○フットサル（男子）
優勝　三年六組
　二年二組A
　一年六組

▲男子バレー

▲女子バレー

▲バスケ

▲マリオカート

▲オセロ

▲フットサル

活動の記録

応援活動貢献賞
恵比須優里・竹内　佑果

弓道部
第33回香川県高等学校弓道選手権大会
男子団体　準優勝
男子個人　優　勝　苧坂　暁斗

第48回会長杯弓道大会（一年生大会）
男子団体　優　勝
男子個人　優　勝　吉井　優心
　大西　誠人

剣道部
第70回　高松市近県剣道大会
女子団体　準優勝
女子個人　第3位　高嶋　花菜

令和7年度香川県高等学校新人剣道大会
男子団体　優　勝
男子個人　優　勝　中村　朱佑
　準優勝　苧坂　暁斗

女子団体　準優勝
女子個人　第3位　吉村　菜摘
　第3位　尾嵜　花凪

第35回全国高等学校剣道抜大会　香川県予選
女子団体　優　勝

令和7年度香川県高等学校新人剣道大会
女子団体　準優勝
女子個人　準優勝

第79回国民スポーツ大会
少年女子（井頭　七海・佐藤　優奈）　第4位

令和7年度香川県高等学校新人大会ハンドボール競技
男子　第3位
女子　第3位

令和7年度全国高校選抜ハンドボール大会　四国予選
女子　第2位

ボクシング競技
令和7年度香川県高等学校新人大会ボクシング競技
ライトフライ級
男子
第1位　仁木　雄斗

吹奏楽部
日本管楽合奏コンテスト全国大会予選審査会
高校A部門　優秀賞
香川県高等学校総合文化祭吹奏楽部門　奨励賞

合唱部
香川県高等学校総合文化祭合唱部門　奨励賞

美術部
たかまつ市人権作品展ポスターの部
入　選　藤本　莱月

第42回香川県高等学校総合文化祭展覧会美術・工芸展平面の部
奨励賞　東原しおん

書道部
全国書道展
特　選　竹内　彩愛・住友　美花
　福井　百香

高松市青少年健全育成作品展
最優秀賞　森内　優芽
たかまつ市人権作品展
書写の部
入　選　佐藤　瑞季

第42回香川県高等学校総合文化祭展覧会書道展
優秀賞　竹内　彩音

ダンス部
令和7年度ダンスドリル秋季競技大会中国・四国大会
ヒップホップ男女混成部門　第1位

調理部（チーム名　ユナリサ）
株式会社タニタ
ご当地ごはんコンテスト
準グランプリ　阿尾　夢那・米谷　理沙

看護科
令和7年度看護高等学校体験発表会
優秀賞　小林りあら

環境科学科
平板測量競技会
優秀賞　日笠　桃香・高岡ほのか
　谷隼　雄人・山下　大我

生活デザイン科
おもちゃ甲子園
香川県私立認可保育園連盟会長賞　片岡　羽海
審査員特別賞　山野　碧心

ニッポン豆腐サミット高校生豆腐料理コンテスト
最優秀賞　細谷　優愛
優秀賞
酒巻璃央奈・阿尾　夢那
大河原詩歩

福祉科
第15回オールジャパンケアコンテスト
優秀賞　柴田　凛

第35回全国産業教育フェア福島大会第12回高校生介護技術コンテスト
優秀賞、厚生労働大臣賞
西岡　美保・山下　華奈
小泉　翔

後期生徒会　生徒会長インタビュー

高校後期生徒会長の小板橋さんを取材しました。

Q　なぜ生徒会長になりたいと思ったのですか。

A　中学校でも生徒会役員をしていましたが、総文祭で生徒会の活動を見て、やってみたいと思ったからです。

Q　生徒会として取り組んでみたいことを教えてください。

A　高松南高の良さが、まだまだ知られていないので、インスタなどを通して、地域の人や中学生に南高の良さを伝えていきたいと思います。

Q　南高生に一言お願いします。

A　生徒の皆さんが学校行事や学校生活を楽しんでもらえるように、アイデアを実現していきますので、期待してください。

後期生徒会メンバー紹介

■高校
会　長　小板橋　凛
副会長　長尾　悠生
書　記　長谷川夢佳
　　原田　茉実
会　計　十河　果澄
　　竹村　真惟

■専攻科
会　長　鈴木　翔太
副会長　川角　侑生
書　記　福家　悠花
会　計　池田　美優
　　加藤　優凛
他委員　福家　暖人
　　新西　琴華
　　黒渕　海羽
　　中尾　真琴
五名

特集　生徒インタビュー

今年度、車椅子を利用する花石陸玖さんが南高に入学してくれました。どのような学校生活を送っているか、インタビューしました。

Q　南高に入学してどうですか？

A　優しい人や助けられたことが多かったです。楽しい思い出がたくさん作れています。

Q　学校生活で一番楽しいことは何ですか？

A　友人と話すことです。

Q　学校生活で大変なことはありますか？

A　移動は時間がかかります。昼休みにパソコンの練習に行くと、授業開始ギリギリになることがあります。また、（行ってはいませんが、）食堂の段差は乗り越えるのが大変そうです。

Q　卒業後の目標は何ですか？

A　大学に進学したいです。その後は、人の役に立つ仕事に就いて、これまでの恩返しをしたいと思っています。

※花石さんは読書家でもあり、図書室の本の貸し出し数は学年2位です。これからも楽しい学校生活を送ってください。

本校の教育活動に対するアンケート結果 ～3年生対象～（2025年12月実施）

	質　問	回答件数 よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	合計	回答％ よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1	総合的に判断して、南高の教育活動に満足している	51	128	39	13	231	22%	55%	17%	6%
2	授業は、分かりやすく、興味をもてるように行われている	45	147	36	3	231	19%	64%	16%	1%
3	学校は、さまざまな体験学習や外部講師を招いた授業等を行っている	79	83	57	12	231	34%	36%	25%	5%
4	学校は、さまざまな資格や検定の受験機会を用意し、指導している	108	81	37	5	231	47%	35%	16%	2%
5	学校は、生徒の進路目標に応じた学科、コース・科目編制ができている	115	91	19	6	231	50%	39%	8%	3%
6	学校は、服装・頭髪指導や挨拶指導を行っている	130	79	15	7	231	56%	34%	6%	3%
7	学校は、命の大切さや思いやり、社会のルールやマナーについての指導を行っている	86	113	21	11	231	37%	49%	9%	5%
8	学校は、交通安全やいじめ防止、教育相談、保健指導など、生徒が健康で、安全に過ごせるようにしている	86	102	28	14	230	37%	44%	12%	6%
9	学校は、教員やカウンセラーが、必要なときに相談に応じてくれる体制が整っている	67	120	33	11	231	29%	52%	14%	5%
10	学校は、適切な進路情報を提供し、生徒が将来を考える機会を設けている	97	112	16	6	231	42%	48%	7%	3%
11	学校は、課外授業や面接・小論文の個別指導など、生徒の進路実現に努めている	114	98	14	5	231	49%	42%	6%	2%
12	学校行事（南高祭、体育祭、クラスマッチなど）は、種類や内容が充実している	103	91	29	8	231	45%	39%	13%	3%
13	部活動は、生徒が充実した活動ができるよう努めている（部活動に所属している人のみ）	76	91	9	10	186	41%	49%	5%	5%
14	学校は、人権・同和教育ＬＨＲなどで、人権を守る意欲や態度を身につける活動を行っている	104	110	7	10	231	45%	48%	3%	4%
15	学校は、普段の清掃など、美化清掃活動を適切に行っている	107	102	12	10	231	46%	44%	5%	4%